

高等教育センター学修支援部門国際教育推進班担当事業

日本語教育

● 日本語研修コース

初級コース（前・後期）

- ・ 文部科学省大学院入学前予備教育（大使館推薦）、教員研修生、学内公募生を対象とし、大学内外での生活を一人で、成人として乗り切れる日本語力を身につける。
- ・ 集中コースで実施する。日本の文化・習慣・社会規範・日本人のコミュニケーションの仕方などを授業に盛り込み、日本人学生や地域住民との活動を含む学内外の場での日本語・日本文化学習を実施する。
- ・ コース全体を10のプログラムに分け、それぞれのプログラムで筆記試験と口頭試験を行い、学習評価を行う。また、毎日の授業の初めに小テストを行い、事前学習を確認する。
- ・ 語彙や活用の動画を事前に視聴・学習し、授業ではコミュニケーションの習得を重視することで、反転授業の形式を取り入れる。

期間と日程、時間割

<2019年度前期>

期間： 2019年4月8日（月）～ 2019年8月6日（火） 240時間（授業時間のみ）
日程： 4月8日 オリエンテーション、授業開始
4月12日 開講式
6月15日 文化体験旅行（姫路城、人と防災未来センター）
7月27-8日 ホームステイ
8月6日 スピーチ、修了式

	月	火	水	木	金
8:40～10:10	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語
10:25～11:55	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語

<2019年度後期>

期間： 2019年10月8日（火）～ 2020年2月21日（金）
285時間（日本語授業時間のみ） 22.5時間（日本文化研究）
日程： 10月8日 オリエンテーション、授業開始
10月18日 開講式
11月13日 小学校訪問
12月14～15日 脇町旅行、高校生と交流
12月18日 小学校訪問
12月25日 スタディツアー（JFE スチール、岡山城）
2月12～13日 京都旅行
2月21日 スピーチ・修了式
毎週木曜日 グローバルランチ（日本人学生との交流）

	月	火	水	木	金
8:40～10:10	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語
10:25～11:55	日本語	日本語	日本語	日本語	日本語
12:50～13:20	日本語		日本語		日本文化研究 (英語)

受講生、最終スピーチのタイトル

<2019 年度前期>

	国籍	性別	最終スピーチ
徳島大学先端技術科学教育部 博士課程	モンゴル	女	にほんで べんきょうすること
徳島大学先端技術科学教育部 博士課程	モンゴル	男	私が日本で学ぶ理由
徳島大学先端技術科学教育部 博士課程	モンゴル	男	これからがんばります
医科学教育部 博士課程	タイ	男	わたしの けんきゅう
医科学教育部 博士課程	ベトナム	男	えいようと びょうき
高等教育研究センター フロリダアトランティック大学	アメリカ	男	日本で一番好きな食べ物

<2019 年度後期>

	国籍	性別	最終スピーチ
高教研センター研究生 教員研修生	ホンジュラス	女	ホンジュラス 情熱を持って愛する美しい国
高教研センター研究生 教員研修生	フィリピン	男	むらのせんせいは日本へきました
高教研センター研究生 教員研修生	フィリピン	男	七転び八起き
高教研センター研究生 教員研修生	ウガンダ	男	日本のゆうじん
高教研センター研究生 教員研修生	ウガンダ	女	ゆめがほんとうになりました
高教研センター研究生 教員研修生	ジンバブエ	男	私の日本のたび、、
医歯薬研究部 研究者	エジプト	女	日本ですみやすくなりました
徳島大学先端技術科学 教育部 博士課程	モンゴル	女	日本語の先生、ありがとうございました
徳島大学先端技術科学 教育部 博士課程	インドネシア	女	日本で楽しみ勉強します
徳島大学先端技術科学 研究生	中国	男	過去、現在、未来

主な使用教材

- ・ 「みんなの日本語 初級 I」本冊・翻訳文法解説書・標準問題集 第2版 スリーエーネットワーク
- ・ 「みんなの日本語 初級 II」本冊・翻訳文法解説書・標準問題集 第2版 スリーエーネットワーク
- ・ 「留学生のための漢字の教科書 初級 300」 国書刊行会
- ・ 「使える日本語」徳島大学国際センター
- ・ 語彙動画 徳島大学国際センター

日本文化研究（後期）

実施概要

「日本文化研究」は、国際センターが平成 30 年度後期より開始した日本語研修コース受講生を対象としたリサーチ・ベースの授業で、留学生が各自の興味・関心に基づき設定したテーマ（特に、日本文化や社会に関するテーマ）について小規模な調査・研究を行い、それを英語でレポートとしてまとめることを目的としている。昨年度同様、3つのフェーズで構成されており、① 研究手法（特に質的研究）に関する方法論、具体的な調査方法などについて学ぶ Phase 1、② 自らのリサーチテーマを設定し、調査・研究の準備を行う Phase 2、それに、③ 実際に調査・研究を行い、各自で最終レポートをまとめ上げる Phase 3、の順番で授業を実施した。各学生が作成した **Final Essay** は、PDF 冊子として国際センターホームページ上に公開するように予定している。

開講期間：2019 年 10 月 11 日（金）～2019 年 2 月 21 日（金）12:50-14:20

授業実施日および内容（週 1 回、15 週間） 地域創生国際交流会館 G301

回	日付	時間	内容
1	10 月 11 日	12:50～14:20	Orientation
2	10 月 25 日	12:50～14:20	On Qualitative Research (1)
3	11 月 1 日	12:50～14:20	On Qualitative Research (2)
4	11 月 8 日	12:50～14:20	On Qualitative Research (3)
5	11 月 15 日	12:50～14:20	On Qualitative Research (4)
6	11 月 22 日	12:50～14:20	On Qualitative Research (5)
7	11 月 29 日	12:50～14:20	Research Preparation (1)
8	12 月 6 日	12:50～14:20	Research Preparation (2)
9	12 月 13 日	12:50～14:20	Research Preparation (3)
10	12 月 20 日	12:50～14:20	Research Preparation (4)
11	1 月 10 日	12:50～14:20	Research Preparation (5)
12	1 月 24 日	12:50～14:20	Essay Writing (1)
13	1 月 31 日	12:50～14:20	Essay Writing (2)
14	2 月 7 日	12:50～14:20	Essay Writing (3)
15	2 月 14 日	12:50～14:20	Essay Writing (4)
	2 月 21 日	12:50～14:20	Essay Submission

受講生 6 名：

・ フィリピン 2 名 ・ ウガンダ 2 名 ・ ジンバブエ 1 名 ・ ホンジュラス 1 名

評価および所感：

昨年同様、参加学生の多くが学部段階で量的な研究を行っているとは推測されたこと、また、時間的に考えてアンケートなどを用いた量的な研究は難しいとは推測されたこと、などの理由から、質的な研究を中心としたリサーチを中心に行き指導を行った。6名の参加者全員が、鳴門教育大学で教員研修プログラムに参加するために来日していることから、非常に優秀であり、なおかつお互いに励まし合い、意見交換をしながら研究を進めていった。

最終的には、全員が **Final Essay** を提出し、すべての活動を終えることができた。

学生のリサーチテーマは以下のとおり。

- ・ **Japanese media usage patterns among foreigners**
「外国人の間の日本のメディア利用パターン」
- ・ **Japanese Driving Behavior: A Social Influence or Legal Implication**
「日本人の運転行為：社会的な影響、それとも法的な意味合い」
- ・ **How well can Japanese English Language Learners write loanwords in English?**
「日本人英語学習者は英語からの借用語をどの程度英語で書けるのか？」
- ・ **Japanese Student's Insight on Honduran Red Bean Taste**
「ホンジュラス小豆料理の味に対する日本人学生の洞察」
- ・ **Japanese Hospitality Culture and its Origin.**
「日本のホスピタリティー文化とその根源」
- ・ **Case Study of Educational Practices to Enhance Students Entrepreneurial Spirit in Tokushima University**
「徳島大学における学生の起業家精神を促進する教育的試みに関するケーススタディー」

日本語研修（上級）コース

概要

- 渡日前入学許可制度で学部に入学者を対象にする。
- 入学年度の半年間、日本語レベルの向上を目的に集中コースを行う。日本人学生と一緒に授業を履修し単位取得ができるように、十分な日本語能力を身につける。
- 日本留学試験を受け、本学の入学試験に合格している学生を対象にするため、大学の講義を聞いたり、教科書を読んで理解したりできる能力を養う。また、講義を聞くことに慣れさせるため、数学や自らの専門の学部の授業を聴講させる。
- 翌年の4月から日本人学生と同じように新入生として授業を履修できるよう、日本での生活に慣れさせる。そのために、生活指導や文化体験などを行う。
- 語学マイレージ・プログラムの実施により、留学生も英語のマイレージ・ポイントを取得する必要があり、そのために日本語だけでなく英語能力も向上させる。

期間 2019年10月16日（水）～ 2020年2月21日（金）

授業スケジュールと主な使用教材

	月	火	水	木	金
8:40 – 10:10			基礎物理学（聴講）		
10:25 – 11:55	英語	科学技術日本語	日本事情Ⅱ（聴講）	日本事情Ⅳ（聴講）	日本語漢字・語彙
12:50 – 14:20	統計（聴講）	日本語聴解		グローバルランチ	日本語読解
14:35 – 16:05	数学（個別指導）		英語	アカデミック日本語	英語
16:20 – 17:50		数学（個別指導）			

小学校・高校訪問、京都旅行、スタディツアー（岡山）、協町旅行、グローバルランチ

主な内容や使用教科書

日本語聴解：「留学生のためのアカデミックジャパニーズ 動画で学ぶ大学の講義」

アカデミック日本語：「大学で学ぶための日本語ライティング」

「大学で学ぶための日本語ライティング」

日本語読解：「大学・大学院留学生の日本語③論文読解編」

「読むトレーニング応用編」

日本語語彙・漢字：「考える漢字語彙・上級編」

科学技術日本語：「科学技術基礎日本語」「科学技術日本語案内」

英語：「Open Mind Level 3」

受講生と最終スピーチ・タイトル

	国	性別	2020年4月入学	最終課題
日本語等予備教育生	韓国	男	生物資源産業学部	韓国の春
日本語等予備教育生	韓国	男	生物資源産業学部	GMO と副作用

● 総合日本語

- ・ 未習から中級までの日本語学習を希望する学生、研究者とその成人家族を対象とする。
- ・ 常三島・蔵本キャンパスで実施する。
- ・ 希望者には参加証書を発行する。

実施概要

- ・ 開講クラスと使用教材

クラス名	レベル	JLPT 換算	CEFR 換算	教科書：「みんなの日本語」 (スリーエーネットワーク)
初級 1	未習者-初級	－	A1	初級 I L 1～L 13
初級 2	初級	N5	A1	初級 I L 14～L 25
初級 3	初中級	N5	A2	初級 II L 26～L 38
初級 4	初中級	N4	A2	初級 II L 39～L 50
中級 1	中級	N4	B1	中級 I L 1～L 6
中級 2	中級	N3	B1	中級 I L 7～L 12
中級 3	中上級	N3-2	B2	中級 II L 1～L 6
中級 4	中上級	N2	B2	中級 II L 7～L 12

- ・ 使用教室

常三島キャンパス：総合科学部 1 号館 3 階 国際センター教室

地域創生・国際交流会館 3 階 G302、303

蔵本キャンパス：蔵本会館 2 階 多目的室 3、5

- ・ 使用教科書

みんなの日本語 初級 I、初級 II、中級 I、中級 II 第 2 版

本冊、翻訳・文法解説 スリーエーネットワーク

- ・ 受講者数

開講 クラス	人数（申し込み時の人数）			
	前期 2019 年 5 月 7 日～ 2019 年 7 月 22 日		後期 2019 年 10 月 22 日～ 2020 年 1 月 25 日	
	常三島	蔵本	常三島	蔵本
初級 1	5 (8)	9 (12)	4 (5)	13 (13)
初級 2		6 (6)	3 (3)	5 (5)
初級 3	5 (5)		2 (2)	5 (6)
初級 4			3 (3)	
中級 1	7 (7)			

中級 2	2 (2)			
中級 3	3 (3)		5 (5)	
中級 4				
小計	22 (25)	15 (18)	17 (18)	23 (24)
合計	37 (43)		40 (42)	

・ 開講状況

前期	月	火	水	木	金
08:40～					
10:25～	蔵本初級 2		常三初級 1		蔵本初級 2 常三初級 1
12:50～	蔵本初級 1 常三初級 2		常三初級 1	常三初級 2	蔵本初級 1 常三初級 1
14:35～		常三初級 3	常三初級 2	常三初級 3	常三初級 2
16:20～	常三初級 3				常三初級 3

後期	月	火	水	木	金
08:40～		蔵本初級 1 蔵本初級 2			蔵本初級 1 蔵本初級 2
10:25～	常三初級 1	蔵本初級 3	常三初級 1		蔵本初級 3
12:50～	常三初級 2			常三初級 2	
14:35～		常三初級 3	常三初級 4		常三初級 3 常三初級 4
16:20～	常三初級 3				常三初級 3

アンケート結果

前期 (回答 25)

評価	5 とても満足した	4	3 普通	2	1 全く満足しない
人数	21	3	0	0	0
%	84%	16%	0%	0%	0%

コメント

- 先生はとてもやさしいです。
- 明確に説明してくれて、わかりやすかった。
- モンゴル語の解説書が欲しい。

- やさしくないですが、たいへんおもしろい。
- とても満足した。
- とても大切な漢字の勉強がなかったのが残念だ。
- 日本の文化がわかりました。
- もっと数多くして欲しい。週に 3 回。
- 中級のクラスを蔵本キャンパスで開講して欲しい。常三島は遠すぎる。

後期 (回答 30)

評価	5 とても満足した	4	3 普通	2	1 全く満足しない
人数	26	3	1	0	0
%	87%	10%	3%	0%	0%

コメント

- 先生はフレンドリーで忍耐強い。
- 教科書も先生の説明も分かりやすかった。
- 日本語がとても上達した。自分の国での勉強とかなり違う。
- 先生たちは一生懸命がんばって教えてくれた。
- 授業の内容と先生の教え方は適切だった。
- リスニングの練習でビデオを見たりするといいかもしれない。
- 楽しかったし、日本で生活するための基礎的な日本語が学べた。
- ちょっと難しい。でも、いろいろ勉強した。
- 漢字を勉強したい。

● 留学生のための英語

概要

「留学生のための英語」は、国際センターが 2017 年度より開始した留学生対象の英語補習授業で、留学生が本学の卒業要件に必要な英語力を獲得することを支援するためのコースである。「これまで英語を勉強したことがあるが、あまり得意でない」と考えている留学生、「基礎的な英語は大丈夫だけど、もう少し英語力を UP したい」と考えている留学生を対象としており、TOEIC などの語学試験にも対応することを目的としている。

「留学生のための英語」は、受講者の英語レベルに応じて、A コース（初級レベル）、B コース（中級レベル）の 2 つに分けて展開しており、A コースは TOEIC550 点未満の留学生（CEFR A1, A2）を、B コースは TOEIC550 点以上の留学生を対象としている。

いずれのコースも、Reading, Listening, Writing & Speaking の英語力向上を目指した支援を提供する。

2019 年度前期

A コース: TOEIC550 点未満 (CEFR A1, A2)

- ・ **受講生 3 名**
 - 総合科学教育部 1 名
 - 保健科学教育部 1 名
 - 薬学教育部 1 名
- ・ **内容**

今回は、昨年度と趣向を変え、Oxford 出版が出している Select Readings Elementary を用いて授業を行った。最初の授業で面談を行い、レベル的に適切であることを確認し、授業を開始した。各授業の概要は以下のとおり。
- ・ **授業実施日および内容（週 2 回、約 10 週間） 地域創生・国際交流会館共用室 302**

1. 5 月 8 日（水） 12:50～14:20	Chapter 1: The Most Popular Sports in the World (1)
2. 5 月 13 日（月） 12:50～14:20	Chapter 1: The Most Popular Sports in the World (2)
3. 5 月 15 日（水） 12:50～14:20	Chapter 1: The Most Popular Sports in the World (3)
4. 5 月 20 日（月） 12:50～14:20	Chapter 2: Are You a Healthy Eater? (1)
5. 5 月 22 日（水） 12:50～14:20	Chapter 2: Are You a Healthy Eater? (2)
6. 5 月 27 日（月） 12:50～14:20	Chapter 2: Are You a Healthy Eater? (3)
7. 5 月 29 日（水） 12:50～14:20	Chapter 3: Dream Homes (1)
8. 6 月 3 日（月） 12:50～14:20	Chapter 3: Dream Homes (2)
9. 6 月 5 日（水） 12:50～14:20	Chapter 3: Dream Homes (3)
10. 6 月 10 日（月） 12:50～14:20	Chapter 4: Kiss, Bow or Shake Hands? (1)
11. 6 月 12 日（水） 12:50～14:20	Chapter 4: Kiss, Bow or Shake Hands? (2)
12. 6 月 17 日（月） 12:50～14:20	Chapter 4: Kiss, Bow or Shake Hands? (3)
13. 6 月 19 日（水） 12:50～14:20	Chapter 5: A City Without Oil (1)
14. 6 月 24 日（月） 12:50～14:20	Chapter 5: A City Without Oil (2)
15. 6 月 26 日（水） 12:50～14:20	Chapter 5: A City Without Oil (3)
16. 7 月 1 日（月） 12:50～14:20	Chapter 6: You Can't Please Everyone (1)
17. 7 月 3 日（水） 12:50～14:20	Chapter 7: Across the Desert (1)
18. 7 月 8 日（月） 12:50～14:20	Chapter 7: Across the Desert (2)
19. 7 月 10 日（水） 12:50～14:20	Chapter 7: Across the Desert (3)
- ・ **評価および所感**

今回は受講人数が限られていたこともあり、教科書に関する文化的な話題を多く含みながら授業を展開した。受講した学生 3 名が、いずれも中国からの留学生であったことから、たとえば Chapter 1 において中国で人気のあるスポーツについてディスカッションしたり、Chapter 2 では中国のフードデリバリーサービスと日本のデリバリーサービスの違いについて意見交換をしたりした。実際の授業においては、受講者の英語力が限られていたこともあり、日本語と英語を織り交ぜながら授業を行った。授業内容に関する理解度も高く、お互いに非常に満足できた授業だった。

B コース: TOEIC550 点以上

- ・ 受講生 2 名

- 先端技術科学教育部 1 名

- 総合科学教育部 1 名

- ・ 内容

昨年度は試行的に市販のテキストを利用せず、日本文化に関する自作の PPT を用いて授業を行って見たが、今回は Perceptia Press が出版している I and Me というテキストを用いて授業を行った。テキスト中の各 Chapter には性格判断や認知傾向などを見るための質問紙が収録されており、学習者が興味を持って内容を学習できるように設計されている。今回は、英語を使って内容をより深く学んでもらうために、この教材を用いることとした。各回の概要は以下のとおり。

- ・ 授業実施日および内容（週 2 回、約 10 週間） 地域創生・国際交流会館共用室 303

1. 5 月 8 日 (水)	14:35~16:05	Test 1: Do You Know Yourself? (1)
2. 5 月 13 日 (月)	14:35~16:05	Test 1: Do You Know Yourself? (2)
3. 5 月 15 日 (水)	14:35~16:05	Test 1: Do You Know Yourself? (3)
4. 5 月 20 日 (月)	14:35~16:05	Test 1: Do You Know Yourself? (4)
5. 5 月 22 日 (水)	14:35~16:05	Test 2: Are You a Can-do Person (1)
6. 5 月 27 日 (月)	14:35~16:05	Test 2: Are You a Can-do Person (2)
7. 5 月 29 日 (水)	14:35~16:05	Test 2: Are You a Can-do Person (3)
8. 6 月 3 日 (月)	14:35~16:05	Test 2: Are You a Can-do Person (4)
9. 6 月 5 日 (水)	14:35~16:05	Test 2: Are You a Can-do Person (5)
10. 6 月 10 日 (月)	14:35~16:05	Test 3: Are You Independent? (1)
11. 6 月 12 日 (水)	14:35~16:05	Test 3: Are You Independent? (2)
12. 6 月 17 日 (月)	14:35~16:05	Test 3: Are You Independent? (3)
13. 6 月 19 日 (水)	14:35~15:30	Test 3: Are You Independent? (4)
14. 6 月 24 日 (月)	14:35~16:05	Test 3: Are You Independent? (5)
15. 6 月 26 日 (水)	14:35~16:05	Test 4: Are You Always Correct? (1)
16. 7 月 1 日 (月)	14:35~16:05	Test 4: Are You Always Correct? (2)
17. 7 月 3 日 (水)	14:35~16:05	Test 4: Are You Always Correct? (3)
18. 7 月 8 日 (月)	14:35~16:05	Test 4: Are You Always Correct? (4)
19. 7 月 10 日 (水)	14:35~16:05	Test 4: Are You Always Correct? (5)

- ・ 評価および所感

本授業では、試行的に性格判断などの質問紙を取り扱っている教科書を用いてみたが、心理学の背景知識がない学生にとってはやや難しかった感があり、たとえばマズローの欲求 5 段階説などを理解するのに手間取っていたように思える。その他に関してみると、授業中に各チャプターのテーマに応じて日常的な観点から比較的長い時間を取って意見交換をしたこともあり、受講者としては比較的自由な雰囲気の中で授業を受けることができたと考える。

最後の授業で受講者から本授業についての聞き取りを行ったところ、「色々なテーマについて自由に話ができただのは良かった」「英語で日本のことについて知れたのは良かった」といったフィードバックを得た。

A コース: TOEIC550 点未満 (CEFR A1, A2)

・ **受講生 5 名**

- 総合科学部	1 名	- 理工学部	1 名
- 保健科学教育部	1 名	- 保健学科研究生	1 名
- 先端技術教育部研究生	1 名		

・ **内容**

後期の A コースでは、下記のテキストを用いながら授業を展開した。基本的にはテキストに沿って授業を行ったが、内容に応じて、時事的なトピックを織り交ぜ、英語、日本語を織り交ぜながらディスカッションを行った。

(教科書) マクミラン出版 Open Mind 2

・ **授業実施日および内容 (週 2 回、約 10 週間) 地域創生・国際交流会館共用室 301**

1. 10 月 24 日 (木)	14:35~16:05	A New Millenium (1)
2. 10 月 29 日 (火)	14:35~16:05	A New Millenium (2)
3. 10 月 31 日 (木)	14:35~16:05	A New Millenium (3)
4. 11 月 5 日 (火)	14:35~16:05	A New Millenium (4)
5. 11 月 12 日 (火)	14:35~16:05	Culture Vulture (1)
6. 11 月 14 日 (木)	14:35~16:05	Culture Vulture (2)
7. 11 月 19 日 (火)	14:35~16:05	Culture Vulture (3)
8. 11 月 21 日 (木)	14:35~16:05	Culture Vulture (4)
9. 11 月 26 日 (火)	14:35~16:05	Tickets, Money and Passion (1)
10. 11 月 28 日 (木)	14:35~16:05	Tickets, Money and Passion (2)
11. 12 月 3 日 (火)	14:35~16:05	Tickets, Money and Passion (3)
12. 12 月 5 日 (木)	14:35~16:05	Tickets, Money and Passion (4)
13. 12 月 10 日 (火)	14:35~16:05	It Could Happen to Anyone (1)
14. 12 月 12 日 (木)	14:35~16:05	It Could Happen to Anyone (2)
15. 12 月 17 日 (火)	14:35~16:05	It Could Happen to Anyone (3)
16. 12 月 19 日 (木)	14:35~16:05	It Could Happen to Anyone (4)
17. 12 月 24 日 (火)	14:35~16:05	Musican Notes (1)
18. 1 月 9 日 (木)	14:35~16:05	Musican Notes (2)
19. 1 月 14 日 (火)	14:35~16:05	Musican Notes (3)
20. 1 月 16 日 (木)	14:35~16:05	Musican Notes (4) 期末インタビュー

・ **評価および所感**

本授業では、基本的な内容を読んで、聞いて、理解し、話すことができるように、比較的簡単なテキストを用いながら授業を行った。最終的な評価は、各学生に対するグループおよび個人レベルでのインタビューでの評価を基に行った。

各受講者からは、「最初はどうか不安だったが、少しできるようになったので良かった」などの意見を聞くことができた。

B コース: TOEIC550 点以上

・ 受講生 8 名

- 理工学部研究者	1 名	- 医科学教育部	1 名
- 総合科学部	1 名	- 先端技術科学教育部	2 名
- 総合科学教育部	1 名	- 理工学部	1 名
- 医科学教育部研究生	1 名		

・ 内容

後期の B コースでは、下記のテキストを用いながら授業を展開した。基本的にはテキストに沿って授業を行ったが、内容に応じて、時事的なトピックを織り交ぜ、英語によるディスカッションを行った。

(教科書) マクミラン出版 Open Mind 3

・ 授業実施日および内容 (週 2 回、約 10 週間) 地域創生・国際交流会館共用室 301

1. 10 月 24 日 (木)	16:20~17:50	Live and Learn (1)
2. 10 月 29 日 (火)	16:20~17:50	Live and Learn (2)
3. 10 月 31 日 (木)	16:20~17:50	Live and Learn (3)
4. 11 月 5 日 (火)	16:20~17:50	Live and Learn (4)
5. 11 月 12 日 (火)	16:20~17:50	Live and Learn (5)
6. 11 月 14 日 (木)	16:20~17:50	Then and Now (1)
7. 11 月 19 日 (火)	16:20~17:50	Then and Now (2)
8. 11 月 21 日 (木)	16:20~17:50	Then and Now (3)
9. 11 月 26 日 (火)	16:20~17:50	Then and Now (4)
10. 11 月 28 日 (木)	16:20~17:50	Then and Now (5)
11. 12 月 3 日 (火)	16:20~17:50	Buying the Power (1)
12. 12 月 5 日 (木)	16:20~17:50	Buying the Power (2)
13. 12 月 10 日 (火)	17:00~17:50	Buying the Power (3)
14. 12 月 12 日 (木)	16:20~17:50	Buying the Power (4)
15. 12 月 17 日 (火)	16:20~17:50	Buying the Power (5)
16. 12 月 19 日 (木)	16:20~17:50	Taking Care of Business (1)
17. 12 月 24 日 (火)	16:20~17:50	Taking Care of Business (2)
18. 1 月 9 日 (木)	16:20~17:50	Taking Care of Business (3)
19. 1 月 14 日 (火)	16:20~17:50	Taking Care of Business (4)
20. 1 月 16 日 (木)	16:20~17:50	Taking Care of Business (5) 期末インタビュー

評価および所感

今回選定したテキストが、受講者のレベルに丁度よかったこともあり、非常に良い感じの授業を展開することができた。学生の多くが中国人であったため、時折中国語が飛び交うこともあったが、授業中は基本的に英語でやり取りをすることができた。TOEIC550 以上の実力がある学生が集まっていたものの、学生間の実力差は大きく、なかなか活動を調整するのが難しかった。ただ、集まった学生の誰もが意欲的であったことから、十分に効果的な授業を展開できた。

最終的な評価はグループならびに各学生に対する個人レベルでのインタビューでの評価を基に行った。インタビューの結果としては、「いろいろな話を英語でできて面白かった」、「話す機会や書く機会があったので良かった」などの意見があった。